



※ 農家の皆様へ ※

# 露地ショウガ通信

回覧

高南農業改良普及所  
R7年2月作成

## ⑨ 土壌病害対策を徹底しよう！その2

### ○ 土壌くん蒸剤は正しく安全に使用しましょう

ダゾメット粉粒剤、クロルピクリン等土壌くん蒸剤の使用時には必ず被覆を行います。

被覆を行うことで、土壌中にくん蒸剤のガス成分が留まり、安定した効果が得られます。また近隣へのガス揮散による危害防止にもなります。せつかく経費をかけて施用する土壌くん蒸剤ですので、**使用方法や注意事項をしっかりと守り、安全かつ効果的に使用しましょう！**

### 1. 参考データ

#### ＜ポリエチレンフィルムの厚さと被覆効果＞

土層別のガスをレタスを播種した検知管で検査した。地温：27℃。土壌水分：42%。ダゾメット処理量：20kg/10a。処理深度：5 cm。++：不発芽、+：抑制、-：正常

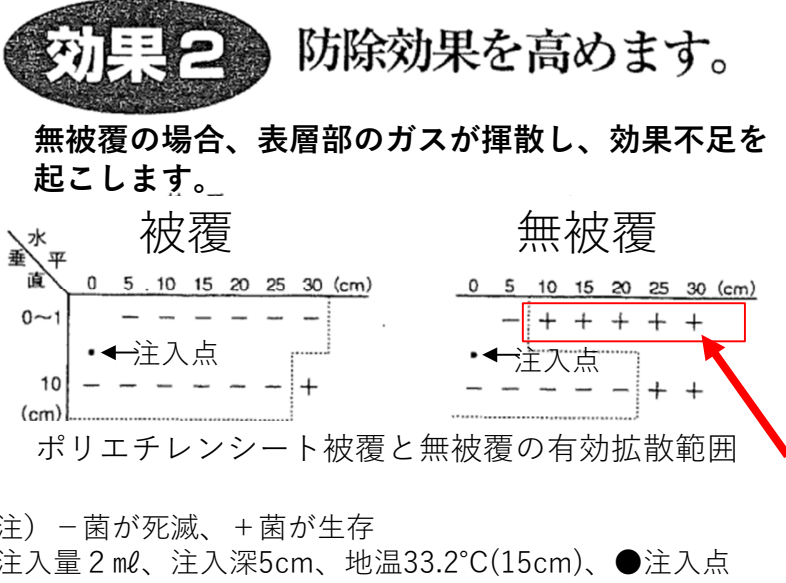
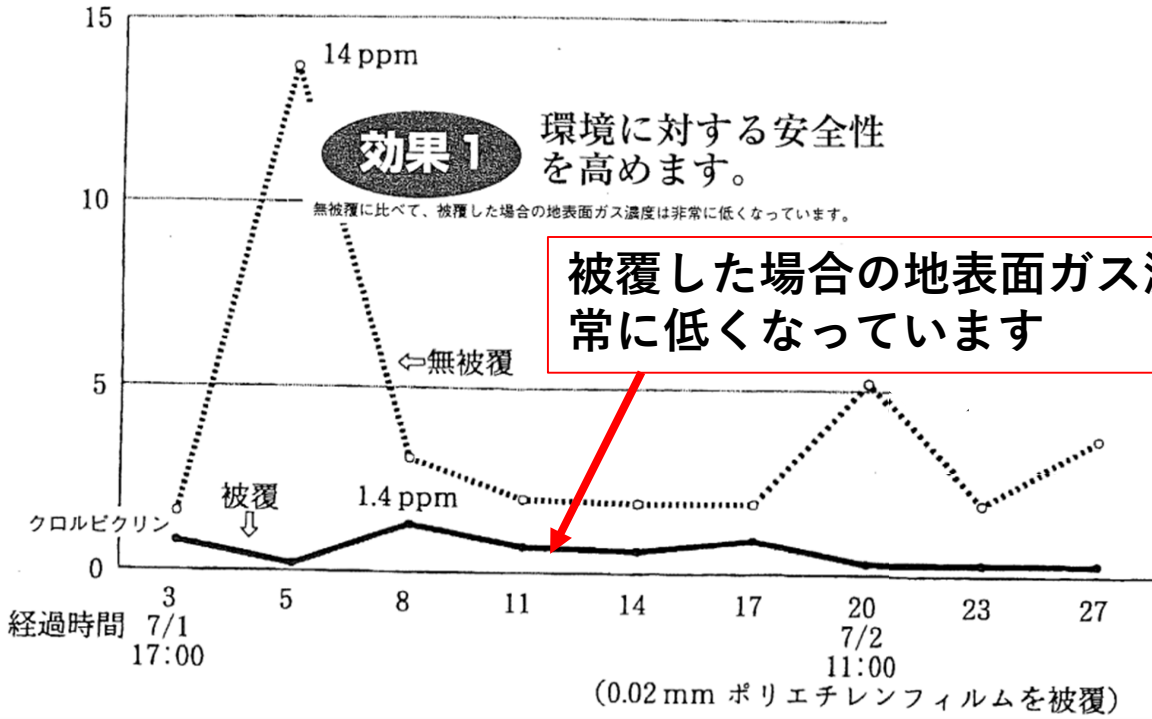
	深度 cm	レタスの発芽抑制				
		0-3	3-6	6-11	11-14	14-17 日
ポリエチレン0.03mm 被覆	0	++	++	-	-	-
	5	++	++	+	-	-
	10	++	++	++	-	-
	15	+	++	++	-	-
	20	-	++	++	++	-
	25	-	++	-	-	-
	30	-	-	-	-	-
ポリエチレン0.05mm 被覆	0	++	++	++	-	-
	5	++	++	++	-	-
	10	++	++	++	-	-
	15	+	++	++	-	-
	20	-	++	++	-	-
	25	-	++	+	-	-
	30	-	-	-	-	-
無被覆	0	++	-	-	-	-
	5	++	++	-	-	-
	10	++	++	-	-	-
	15	+	++	-	-	-
	20	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-

被覆した方が、発芽抑制期間が長く、また地中深くまで効果があることが分かる

\* ダゾメット粉粒剤とは、商品名バスアミド微粒剤またはガスタード微粒剤を指します。

裏へ⇒

# 被覆によるクロルピクリンの地表面におけるガス濃度の違い (ppm)



- クロルピクリンの安全使用のポイント
- 薬液の大気中への拡散を極力減らすこと
  - 適正な土壤消毒機を使用すること
  - 被覆を必ず行うこと
- 無被覆の場合は地表面に菌が生存

図3 処理後の地表面気中濃度 (H4.7 茨城県結城市) ※データ提供：アグロカネショウ(株)

## 2. その他の土壤病害対策

### 【土壤還元消毒の実施】

・土壤病害対策の1つとして土壤還元消毒も検討してはいかがでしょうか。時間と経費が必要ですが、青枯病菌やセンチュウ等の低減効果があります(根茎腐敗病への効果については検討中)。

### 【緑肥の利用】

・緑肥には多くの種類があり、その効果も様々です。ソルゴーだけでなくカラシナ等の緑肥も考えてみてはいかがでしょうか。農研機構のマニュアルを参考にしてみてください。 ※「農研機構、緑肥利用マニュアル」で検索！ データが大きいのでPC閲覧推奨